

令和4年度 第1回松元支所管内の振興に係る地域懇話会概要

日 時	令和4年6月24日（金） 18時30分～20時
場 所	松元支所
出席者	地域懇話会委員、地域活性化アドバイザー、事務局
会 次 第	<ul style="list-style-type: none"> ○委員委嘱 ○事業説明 <ul style="list-style-type: none"> ①地域の魅力・活力共創事業の概要 ②地域懇話会の概要 ③地域活性化アドバイザーからの説明 ○協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ①松元支所管内の現状と課題 ②計画の方向性 ③取組みの概要
主な意見等	<p>【各委員等からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○松元はお茶が有名だが、人材は高齢化しており、後継者の問題もある。しかし、生産面積は落とさないよう茶工場に努力していただいている。東昌地域は農地が多く、民家は空き家が増え、高齢者が多くなってきているが、水資源は東昌地域の山々が源となっており、自然を大切に活性化できるといい。 ○生産者が消費者に直接販売したいと考え月1回のマルシェを開催する等の活動を行っている。現在、お茶体験ができる場所を提供するよう準備もしている。茶畑を子ども達に触れてもらえば貴重な体験ができると思う。 ○地域への愛着・帰属意識が希薄化しているという表現が納得した。合併前は地域にまとまり感があった。4地域を活性化する柱として、お茶や自然を活用することはいいと思う。 ○東昌小学校は5・6年生、3・4年生が複式学級となっている。田舎暮らしが好きで農業をしたいと東昌地域に来る方もおり、そういう方を増やしていければいい。 ○春山地域は子育て世帯の増加が問題となっている。児童数は増えており、子ども達は松元に愛着を感じていると思うが、その親たちは松元に縁がない方も多い。子ども達も就職すれば地元に残らないのではないかと。4校区共通のイベントが今はない。 ○隣の伊集院には大きな商業施設やグラウンド等があるが、松元はそこら辺がワンランク落ちていると感じる。通勤が便利な反面、ベッドタウン化してきており商業施設や食事施設が少ない。 ○人口は増えているが、盛り上がり欠けるように感じる。子ども達が将来戻ってくるような仕組みが大切だと思っており、茶摘み体験が楽しかったと聞いたりする。茶畑の防霜ファンがうるさい等の苦情もあり、理解してくれる人も減っているように感じる。周りの人に聞くと自然が豊かだというイメージを持つ方は多く、キャンプがブームとなっているので、松元ダムや茶畑を組み合わせることはできないか。 <p>【地域活性化アドバイザー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○松元は、鹿児島市に住んでいる方にはドライブの目的地としてちょうどいい距離だと思える。松元に行くという動機づけ、目的を作ることができ、繰り返し松元に来てもらえば、松元の魅力である景観が綺麗なところ、お茶の魅力や人の魅力等がわかってもらえると思う。人は人を呼び、盛り上がっているところにはさらに人が集まる傾向にある。